

県総文発表会で優秀賞

東雲高校 自然科学部 外来生物駆除活動など報告

篠山東雲高校自然科学部の5人がこのほど、神戸市で開かれた「第49回県高校総合文化祭—自然科学部門発表会（第17回）」のポスター発表部門で次点の優秀賞に輝いた。発表テーマは、2020年から実施している篠山城堀のウシガエルなどの外来生物の駆除活動を通じて分かったことをまとめた「篠山城堀の外来生物駆除活動」と、野鳥と水生生物、哺乳類の調査を行った結果から、ささやまの森公園（川原）の自然環境について考察した「ささやまの森公園の生物調査」の2本。県内高校の自然科学部系部活動約60団体が参加し、17校に与えられた栄誉に喜びをかみしめている。

分かりやすさや説得力、写真を多用するなど工夫一工夫一ポスターをそれぞれ1枚をアップさせようと表や、を凝らしたA0サイズの作製し、発表した。



文の自然科学部門発表会ポスター発表部門で優秀賞を受賞した
東雲高校自然科学部の部員たち=丹波篠山市福住で

「篠山城堀の外来生物駆除活動」のポスターによると、駆除活動は19年6月同堀に生息するウシガエルの鳴き声による騒音被害を聞き付けたことから始まった。部員らは定期的に駆除活動を行い、今年9月末までに東馬出堀で特定外来生物のウシガエル、ブルーギル、条件付特定外来生物のアメリカザリガニを計1万7679匹、南馬出堀で3392匹を捕獲したことを報告している。

これらの活動により、アメリカザリガニやブルーギルの個体数は順調に減少し、ウシガエルの成体の数も減らすことに成功。しかし、今年7月

量となつた。

このことについて、ア

メリカザリガニが減る

と、それを餌としていた

ウシガエルの成体も減少

するが、ウシガエルの卵

はアメリカザリガニやブルーギルに食べられずに生き残ったため、幼生が増加したのでは、と考えられる。

「ささやまの森公園の

量となつた。

このことについて、ア

メリカザリガニが減る

と、それを餌としていた

ウシガエルの成体も減少

するが、ウシガエルの卵

はアメリカザリガニやブルーギルに食べられずに生き残ったため、幼生が増加したのでは、と考えられる。

「ささやまの森公園の

量となつた。

このことについて、ア

メリカザリガニが減る

と、それを餌としていた

ウシガエルの成体も減少

するが、ウシガエルの卵

はアメリカザリガニやブルーギルに食べられずに生き残ったため、幼生が増加したのでは、と考えられる。

「ささやまの森公園の

量となつた。

2025年12月14日
丹波新聞

このことについて、ア

メリカザリガニが減る

と、それを餌としていた

ウシガエルの成体も減少

するが、ウシガエルの卵

はアメリカザリガニやブルーギルに食べられずに生き残ったため、幼生が増加したのでは、と考えられる。

「ささやまの森公園の

量となつた。

このことについて、ア

メリカザリガニが減る

と、それを餌としていた

ウシガエルの成体も減少

するが、ウシガエルの卵